

第437回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	17番 佐藤 秀行	<p><b>1. 「パークゴルフ場の整備」について</b></p> <p>(1) パークゴルフは、昭和58年に北海道幕別町で誕生しました。グラウンドゴルフを芝生で行い、ゴルフに近づけ爽快感を加えようと考えたものでした。健康維持への効果があり、生涯にわたる健康づくりの一方法とされています。</p> <p>クラブ1本とボール1個あれば、誰でもすぐに楽しめるスポーツであり、北海道を中心に日本各地に普及しています。「自然の中で遊ぶ」が原点のスポーツで、ルールも簡単であり、子供からお年寄りまで、誰でも手軽にプレーを楽しめます。</p> <p>自覚的健康度の向上、社会的交流、運動による精神的な満足度の向上といった効果が確認されています。運動不足解消、生活習慣病の予防にも効果を発揮しており、高齢者はもとより、働き盛りの世代の健康維持にも、パークゴルフ場の整備は、今後その必要性をさらに増していくものだと思います。</p> <p>少子高齢化が進む中、特にシニア世代には、運動の強さも最適で楽しめるスポーツです。本市においても高齢化とともに、医療費の増加が進み、そのことは健康意識の高揚、健康の保持増進とあわせて喫緊の課題であります。いつまでも健康で明るく活力に満ちた生活を送るためにも、またコミュニケーションづくりのためにも、スポーツ環境の充実を図ることが必要であります。そして、そのことが市民の生活の向上に資すると思えます。そのような意味からも、早期のパークゴルフ場の整備を検討してみたいかと思えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 県内でも石巻市、大崎市などにありますが、企業立地関係、健康寿命の延伸、医療費の減少など学ぶべきものがたくさんあります。そのような成功事例を参考にしながら、是非パークゴルフ場の早期整備を検討してみたいかと思えます。改めて市長の見解を伺います。</p>	市長
		<p><b>2. 「ベラルーシ共和国との交流」について</b></p> <p>平成29年6月14日、白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）において、白石市、柴田町、仙台大学東京オリパラ事前合宿招致推進協議会によるベラルーシ体操協会との事前キャンプに係る協定締結式が執り行われました。</p> <p>白石市、柴田町、仙台大学は、平成28年3月、事前キャンプの誘致を連携して推進していくため、招致推進協議会を設立し、プロモーション活動を行ってきました。</p> <p>ベラルーシ共和国とは、仙台大学が職員や学生の研修派遣、新体操の講師の受入など新体操を通じた交流を行っており、また、白石市ではホワイトキューブにおいて、小中学生を対象とした「キューブ新体操教室」を開催していることから、世界的にもレベルの高いベラルーシ共和国新体操チームの誘致を進めてきました。</p> <p>締結式には、山田白石市長、滝口柴田町長、朴澤仙台大学理事長（招致推進協議会会長）、イリーナ・レパルスカヤベラ</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	17番 佐藤秀行	<p>ルーシ共和国新体操ナショナルチームヘッドコーチが参加し、締結式が執り行われ、事前キャンプだけでなくスポーツ・文化等の交流を行うことについて確認しました。</p> <p>招致推進協議会副会長でもある山田市長は「最適な施設環境の提供により全力で選手の強化に協力したい。協定締結式を契機に、スポーツ、文化の交流を行っていきたい」と述べています。イリーナ・レパルスカヤ氏も「スポーツだけでなく文化交流も深めたい」と述べられました。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿受け入れや公開演技会、市民交流を実施してきました。これまで市長がベラルーシ共和国を訪問、ベラルーシ新体操ナショナルチームの事前合宿を実施、公開演技会をホワイトキューブで実施、また、ホワイトキューブ新体操教室との交流を図っております。</p> <p>このことについて、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 2020年東京オリンピックについて、本市としてどのような形で応援しようと考えているのか、見解を伺います。</p> <p>(2) 2020年東京オリンピック以降のベラルーシ共和国との交流をどのようにお考えなのかお伺いします。</p> <p><b>3. 「仙台大学との連携」について</b></p> <p>平成29年6月14日、白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）において、白石市、柴田町、仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会によるベラルーシ体操協会との事前キャンプに係る協定締結式が執り行われました。それ以降、本市と仙台大学とはいろいろな取り組みを通して良好な関係にあると思います。また、東北生活文化大学とも市内中学校での出前授業を実施するなど、今後さらなる提携・協力・連携等について期待が持てるものだと思います。大学が持っている知的資源(研究内容)、人的資源(人材)、物的資源(施設・設備)を積極的に開放し、地域における生涯学習やスポーツに寄与することは大学の大切な使命の一つであるという考えのもと、仙台大学は地域に開かれた大学を目指し、積極的にさまざまな事業を行っています。このような状況の中、仙台大学と教育の分野で何かしら連携ができないものか、若い人材の活用を通して、地域の活性化、交流人口の増加につなげることができないものかと考えます。その中で本市の施設等も有効に利活用することが大事だと思いますが、市長の見解を伺います。</p>	市長
2	1番 大森貴之	<p><b>1. 期日前投票について</b></p> <p>白石市議会議員一般選挙の期日前投票におきましては、平成27年度執行時(3,565人)の際は、平成23年度執行時(2,836人)より729人増加し、直近執行の衆議院議員と宮城県知事とのダブル選挙時には4,973人の有権者が期日前投票を行い、増加傾向が見られました。</p> <p>問題点としては期日前投票受付までに長時間待ちの現象が発生していることが挙げられており、各自治体でもそれぞれ</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 大森貴之	<p>れに対応されているようです。</p> <p>今回の白石市議会議員一般選挙では投票入場券にバーコードを印刷し対応されましたが、その実施状況についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 期日前投票を行われた人数についてお伺いします。</p> <p>(2) 受付までの待ち時間の状況についてお伺いします。</p> <p>(3) 今回の実施状況を踏まえて、今後の対応についてどのように検討しているのかお伺いします。</p>	市長
		<p><b>2. 乳児用液体ミルクの災害時活用について</b></p> <p>第435回定例会におきまして、山田市長より「備蓄によらず、災害時における応急生活物資の供給協力等に関する協定書によりまして、必要になったときに優先供給していただける手法もございますので、その中に液体ミルクを協定書の物資リストに加える形での対応ということも、これは十分に検討できますので、相手方と協議を進めてまいりたい」との答弁をいただきました。</p> <p>その後の経過についてお伺いいたします。</p>	市長
		<p><b>3. 季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象者の拡大について</b></p> <p>近年の異常気象も伴い、季節性インフルエンザの大流行が懸念される中、任意接種であるため、各人、各家庭において接種を検討し受けることとなりますが、2度の接種を必要とする13歳未満児がおられるご家庭では接種費用も増加してしまい、ちゅうちょするケースも見受けられます。</p> <p>未来からの使者である子供達の命を守り、安心して子育てできる白石市構築のためにも、13歳未満児に対する支援が重要と考えますが、市長はどう思われますかお伺いいたします。</p>	市長
		<p><b>4. 太陽光発電に伴う蓄電池設備について</b></p> <p>太陽光発電設備はクリーンエネルギーの観点から評価を受けており、一般家庭や各自治体でもその設置が推進されておりますが、日照による発電効率の変化や余剰電力の損失等の問題があります。それらの問題を改善させるためには蓄電設備が欠かせません。特に、大規模震災等にて売電が停止した場合の非常用電源としての役割は大きいものがあります。</p> <p>太陽光発電設備用蓄電池についてお伺いします。</p> <p>(1) 現在、本市において太陽光発電設備を使用している施設について教えてください。</p> <p>(2) それらの施設には蓄電設備があるのかお伺いします。</p> <p>(3) 住宅用蓄電池設備の購入助成について、現在検討しているのかお伺いします。</p>	市長
3	5番 大野栄光	<p><b>1. 安心して暮らせる集落づくりについて</b></p> <p>本市は新幹線や高速道路と交通インフラもよく、気候も穏やかで自然災害も少ない街です。歴史と伝統文化に支えられ交通の要所として栄えてきました。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	5番 大野 栄光	<p>一時は10万人都市もささやかれ、仙南の中心都市として期待されました。しかし、現在、少子高齢化、人口流出の影響による消滅可能性都市が危惧されています。</p> <p>そんな中においても、郊外集落はしっかり形成されています。しかし、その反面、二世帯、三世帯同居家族は少なく、高齢化が進む現状にあります。深谷北区地域は70戸からなる集落で、病院や学校にも近く、住みよい地域ではありますが、集落内は狭い枝線にて通行が不便で、緊急車両の進入も難しく、不安を抱えています。</p> <p>地元の人達は安全な幹線道路として「市道不動沢線」の整備を要望していますが、当局はどのような考えなのかお尋ねします。</p>	市長
		<p><b>2. 河川の護岸について</b></p> <p>清流は心の安らぎとなりますが、豪雨や台風接近となると濁流となり、土砂災害の恐怖となります。昨年、今年と西日本は記録的な降水量となり、「線状降水帯」なる表現が使われ、同じ地域に1,000ミリという降水量が報道されました。信じられないような雨が降ります。本市においても、4年前、三住地区にてダム化した沢水が道路を壊し、鉄砲水となり下流の人家や橋までもが相まって多大な被害をこうむりました。人的被害はなかったものの水は人家まで押し寄せ、あわやというところでした。天津沢川においては、増水すると危険な住宅地が川沿いに存在します。自然護岸が崩れて増水時に土砂災害が発生した時、住居地帯に濁流が流入する危険性があります。また、三本木川護岸においては、増水の度に護岸が削られ、下流に土砂が堆積してしまい、河川の形態をなくした箇所もあります。この2河川の護岸整備を望みますが、ご所見をお伺いいたします。</p>	市長
		<p><b>3. 夏の夜の市民が消えた街</b></p> <p>白石市民春まつり、鬼小十郎まつり、農業祭など本市の躍進を見るようなにぎわいがあるお祭りであります。多くの人達が街に集い楽しんでもらえる。関係者の努力に感謝申し上げる次第であります。</p> <p>その中でも白石夏まつりは、あの大音響とともに「白石音頭」にあわせ、街の大通りを市民が一丸となって踊りつづきます。ある団体は「私達も参加したい」と、一生懸命仕事の合間に練習して参加しました。誰もが我を忘れて踊る様は見物人にも感動を与え、いつも気になるシャッター街もこの時ばかりは沿道に人波が押し寄せ活気を呈していました。延々と続く踊り手の列は、本当に市民総参加の大イベントでありました。</p> <p>しかし、今年の夏まつりは少し事情が違い、突然白石の夏の夜から市民が消えたような気がします。にぎわいと踊り手が消えた残像だけが残る思いは私だけなのか、市長のご所見をお伺いいたします。</p>	市長
4	15番 角 張 一郎	<p><b>1. スマートインターチェンジの設置について</b></p> <p>山田市長は「子どもの屋内遊び場の整備」「スマートイン</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	15番 角張 一郎	<p>ターチェンジの設置」等を公約に掲げ、見事市長に当選し、子どもの屋内遊び場である「こじゅうろうキッズランド」を既にオープンさせ、その積極的な市政運営に市民は大きな期待を寄せております。</p> <p>そして、次は「スマートインターチェンジの設置」かなど、市民は大きな関心と期待を持っていると感じております。</p> <p>そこで、市民が今知りたいと思っている「スマートインターチェンジの設置」について、基本的な考え方をお伺いします。</p> <p>(1) スマートインターチェンジの必要性、設置後期待できる効果についてどのような考えをお持ちかお伺いします。</p> <p>(2) 事業費はどの位を想定し、その負担区分・割合はどのようになっているのか。そして、最終的には当市の負担額はどの位と想定しているのかお伺いします。</p> <p>(3) 設置場所については、どのような基本方針の下で現在検討されているのかお伺いします。</p> <p>(4) 供用開始はいつ頃を目標にしているのか。そして、これから国土交通省、NEXCO東日本との協議、調査等はどうのような手順で行われるのかお伺いします。</p> <p>(5) 市民には、どの時点で設置場所等の公表及び説明を行う予定でいるのかお伺いします。</p> <p>(6) スマートインターチェンジ周辺の整備について、先の議会において工業団地の造成も含めたエリア整備を検討したい旨答弁しておりますが、現時点でどのようなイメージをお持ちなのかお伺いします。</p> <p>(7) この事業のスムーズな事業推進を図るため、将来的に独立した専門の部署が必要であると思われませんが、所見をお伺いします。</p>	市長
5	3番 伊藤 勝美	<p><b>1. 山田市長の選挙公約について</b></p> <p>山田市長におかれましては、平成28年11月に白石市長に就任してから、早くも3カ年が経過しようとしております。</p> <p>先の選挙戦で市長が掲げられた公約に「市民の安心」「子どもは未来の宝」「まちのにぎわい」「あたらしい未来地図」の大きな4項目を掲げており、日本一の教育先進都市「子育てするなら白石市」を目指すとあります。また、「さまざまな施策を通じて経済を活性化させます。そして、私が愛してやまないこの白石をみんなが『住みたくなるまち』『住み続けたいまち』につくり変えます」とも掲げております。そこで、山田市長の選挙公約についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 市長就任以来、いろいろな形で公約実現に向け、市民の安全と安心を考え、市政運営をやってこられたものと理解しておりますが、掲げた選挙公約に対して、市長ご自身が、就任約3年間の実績をどのように捉えておられるのか、また、反省することなどがなかったのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 「市民の安心」としての市民の安全について、市長は「市民の安全を守るのが行政の大きな役割です。約10年間の議員生活で築き上げた人脈とネットワークを活用し、市民の安心を全力で守ります」として「刈田総合病院を核とした</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	3番 伊藤勝美	<p>地域医療の充実に取り組みます。仙南医療圏17万人に対して、刈田総合病院が果たす役割を進展させ、白石市民のみならず、仙南地域住民の安心確保と地域包括ケアの充実を図ります。また、仙南医療圏において刈田総合病院とみやぎ県南中核病院は絶対に必要です。今後は、国保病院・診療所を含めた医療連携などを視野に入れ、仙南広域行政（2市7町）へのアプローチを進めます」とあります。</p> <p>そこで、この3年間で取り組んできたこと、進捗状況、今後の展望についての見解をお聞かせください。</p> <p>(3)「教育の充実」について、市長は「世界で活躍するには外国語、特に英語は必要不可欠です。子どもの頃からネイティブの英語に触れる、また直接外国人と触れ合うことで、外国語と異国の文化に親しむことができることから、ALT（外国語指導助手）を増員し、外国語教育の充実を図ります」とあります。</p> <p>そこで、進捗状況と今後の英語教育についての見解をお聞かせください。</p> <p>(4)「図書館機能の充実」について、市長は「学習スペースを充実させた図書館を整備し、学びの場を創出します」として「子どもから高齢者まで図書館は生涯学習の拠点となる重要な施設です。現在の白石市図書館の建物は開設から40年以上経過し老朽化しています。また、約14万2,000冊あまりの収蔵図書もこれ以上ふやせないぐらい手狭になっています。平成23年度は約10万5,000名だった入館者数も平成27年度には約8万9,000名まで減少しています。建て替え等も視野に入れ、市民が利用しやすい・利用したくなるように図書館機能の充実を図ります」とあります。</p> <p>そこで、進捗状況と今後の図書館についての見解をお聞かせください。</p>	市長
		<p><b>2. 交通安全対策について</b></p> <p>市内全域の傾向として、道路上における外側線、停止線、横断歩道等の道路標示が消えているところや消えかかっているところ、もしくはわかりづらいところが多く見受けられます。</p> <p>調査の上、計画的に整備すべきではないかと思いますが、本市の考えをお尋ねします。</p> <p>(1) これまで、道路標示などについて、市内全域の調査を行ったことはあるのでしょうか、お伺いします。</p> <p>(2) 特に、児童・生徒が多く通り、車両の通行量も多い箇所においては、指摘がされる前に改善していただきたいと思いますが、見解をお聞かせください。</p> <p>(3) 年次整備計画を立てて、整備すべきと考えますが、見解をお聞かせください。</p> <p>(4) 夜間、信号機のない横断歩道は暗く危険であることから、交通安全の識者からは、対応策として、横断歩道を照らす道路照明灯の設置は、交通安全上必要であると指摘されています。道路照明灯の設置の整備を本市も推進していただきたいと思いますが、見解をお聞かせください。</p>	市長



順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	6番 沼倉啓介	<p>この一連を踏まえてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 本地区への対応は、現状が精一杯なのかお伺いします。</p> <p>(2) 高齢者の事故防止を考え、自治体として本地区へのさらなる何らかの努力をしていただく余地があるのかお伺いします。</p>	市長
		<p><b>2. 本市の財政について</b></p> <p>今議会においても第56、57号議案で一般会計等の決算認定の議案について議論が交わされています。</p> <p>国の財政等が厳しさを増す中で、財源不足に際して、自治体の貯金に当たる基金を崩す方法もなかなかできにくくなっています。このような現状を鑑みる時、今こそ攻めていく対応の必要しかないのではと思われてなりません。</p> <p>「入るを量りて出ざるを制す」このことさえも通じなくなっている現状において、持続可能な安定的市政運営の実現には市民の理解と協力も伴いながら進む必要があり、時には個別的事案も立案の段階から示しながら進む努力の必要性を感じます。市民の方にも無形の責務を負っていただきながら進む意味を込めて、立案の段階から開示することについて、所見をお伺いします。</p>	市長
7	16番 菊地忠久	<p><b>1. 白石夏まつりについて</b></p> <p>8月10日に「白石夏まつり2019」が開催されました。昨今、全国各地で人手不足や財政難などの理由で、お祭りやイベントが中止となったり、規模を縮小して開催したりという事例が増加しています。本市においても今年は、これまで夏まつりの事務局を担ってきた白石商工会議所が、さまざまな理由によって事務局を降りました。そのため、観光協会が主催者となり、恒例のパレードは中止となりましたが、すまいるひろばでのステージイベントを中心とした新たな形での白石夏まつりとなりました。</p> <p>(1) 「白石夏まつり2019」に対する率直な感想を伺います。</p> <p>(2) 広報しろいし9月号では夏まつりが大きく取り上げられていました。「これからの夏まつりは何も決まっていない」「新しい夏まつりを期待したい」等の記事や関係者の話が掲載されていました。現時点で、来年度以降の白石夏まつりはこういった形で開催したいと考えているか、所見を伺います。</p>	市長
		<p><b>2. 全国学力テストの結果について</b></p> <p>先月、本市の平成31年度全国学力・学習状況調査結果が公表されました。小中学生ともに依然として全国平均を下回っていますが、小学校では県平均を上回り、全国平均との差が縮まるなど改善の兆しが見られる結果となりました。</p> <p>(1) 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて率直な感想を伺います。</p> <p>(2) 今回の結果をどのように分析し、どう今後に生かそうとするのか、所見を伺います。</p> <p>(3) 改めて、学力向上に取り組む教育長の思い、意気込みを</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	16番 菊地 忠久	伺います。	教育長
		<p><b>3. 行政手続きのオンライン化について</b></p> <p>本年5月31日に、いわゆる「デジタル手続法（デジタルファースト法）」が公布されました。これは、既存の行政手続オンライン化法やマイナンバー法、公的個人認証法、住民基本台帳法などを一括改正し、民間も含め行政手続きを原則オンライン化するというものです。行政の手続きやサービスが一貫してオンラインで完結する「デジタルファースト」や、一度提出した情報は再提出不要にする「ワンスオンリー」、民間サービスを含め複数の手続きやサービスをワンストップで実現する「コネクテッド・ワンストップ」の三原則が柱となっています。また、高齢者らを対象に「デジタル・デバイドの是正」も進めることになっています。</p> <p>例えば、引っ越しには多くの手続きが伴いますが、ネットで住民票の移転手続きをすれば、電気やガス、水道の契約変更も済むようになります。</p> <p>この法律では、自治体がオンライン手続きをするかどうか努力義務となっており、必ずしも制度を導入しなければならないものではありません。</p> <p>(1) 行政手続きのオンライン化について、課題があるとすれば、どういったことが考えられるのか伺います。</p> <p>(2) 市民にとって便利になる制度で、将来的に地方行政の機能を維持していくためにもデジタル化は必須であり、積極的に取り組むべきものと考えますが、所見を伺います。</p>	市長
		<p><b>4. 風疹感染予防について</b></p> <p>現在、我が国では風疹が流行しています。国立感染症研究所感染症疫学センターの報告によると、今年1月から8月末までの累計患者数は2,134人で、そのうち2,018人は成人で、かつ男性は1,689人と、女性の約3.8倍となっています。</p> <p>また風疹は予防接種を受ければ防げる病気とされていますが、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が低いことが国の調査でわかっています。そのため、厚生労働省は3年間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を、予防接種法に基づく定期接種（風しん第5期接種）の対象者とするにすることで、各自治体を通じ、今年から抗体検査やワクチン接種が原則無料で受けられるクーポン券を順次配布しています。クーポンは一度に希望者が殺到しないよう年齢に応じて段階的に配布しており、今年、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が対象となっています。</p> <p>厚生労働省は、クーポンの配布によって、今年、抗体検査はおおよそ330万人、予防接種はおおよそ70万人が受けると見込んでいますが、今年4月と5月にクーポン券を利用して抗体検査を受けたのは12万5,859人、予防接種を受けたのは1万6,672人にそれぞれとどまっています。これについて厚生労働省は、抗体検査や予防接種の必要性がまだ十分に浸透して</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	16番 菊地 忠久	<p>いない可能性があるとしています。</p> <p>(1) 現在、我が国で風疹が流行している現状について所見を伺います。</p> <p>(2) 本市における抗体検査・予防接種のクーポン券配布対象者数とこれまでの利用実績について伺います。</p> <p>(3) さらに風疹への理解、クーポン券配布制度等の周知が必要と考えますが、所見を伺います。</p>	市長
8	7番 高橋 鈍斎	<p><b>1. 白石市第一幼稚園の休園について</b></p> <p>今般、8月20日・21日、白石市第一幼稚園の休園について保護者に対する説明があった。</p> <p>(1) 保護者にとって夏休み中に、全員出席できない状況で、なぜ説明したのかお伺いします。</p> <p>(2) 白石市第一幼稚園を休園し、白石市第二幼稚園に統合することについて、いつ、どこで決定したのか、それによる幼児教育の充実とあるが、その根拠はどこにあるのかお伺いします。</p> <p>(3) 職員に対して、事前の話し合いはあったのかお伺いします。</p> <p>(4) 今回、白石市第一幼稚園の休園について、1年間先延ばしになったとはいえ、なぜこれほど急遽なのかお伺いします。</p> <p>(5) 市は待機児童数38名とあるが、これについてはどのように対応するのかお伺いします。</p>	市長 教育長
9	14番 森 建人	<p><b>1. キャッシュレスについて</b></p> <p>10月1日より消費税増税が行われる。増税対策としてキャッシュレス導入が必要とされる一方で、手数料や導入費用で導入を控えている小売店もあると思われる。</p> <p>(1) 白石城歴史探訪ミュージアム、小十郎プラザ、おもしろい市場のキャッシュレス決済の導入状況を伺う。</p> <p>(2) キャッシュレス・消費者還元事業の促進について伺う。</p>	市長
		<p><b>2. 夏まつりについて</b></p> <p>8月10日に開催された「白石夏まつり2019」。昨年までの夏まつりとは違った形での開催であった。</p> <p>(1) 今年の夏まつりについての感想を伺う。</p> <p>(2) 来年以降の夏まつりについて、どのように考えるのかを伺う。</p>	市長
10	2番 佐藤 龍彦	<p><b>1. 公共交通空白地域対策について</b></p> <p>第435回定例会など、市民みなさんの「生活の足」の確保について質問させていただいておりますが、このことについて市民の皆さんの関心が非常に高く、大変多くの方から声が寄せられていることから引き続き質問いたします。</p> <p>以前、質問した際に市長より市内においてドライバー不足が顕著になっていることが、大きな課題となっていると答弁をいただいております。</p> <p>また、民業圧迫などさまざま解決しなければならない課題</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	2番 佐藤龍彦	<p>はありますが、しかし市内において山間部など公共交通空白地域に住んでいる高齢者など交通弱者の皆さんのためにも、新たな取り組みが必要となっていると思います。</p> <p>先日、ある一人暮らしの高齢女性から「病院に通院しているが、都合の良い時間帯に市民バスが来ない、市民バスのルートも変更になり、バス停まで行くことが困難になった」との声が寄せられ、高齢男性からも「国民年金をもらっているが満額ではなく、経済的にも苦しくタクシーは呼べない、足が悪くバス停までいけない」という声も寄せられました。</p> <p>市内には、一人暮らし、高齢者のみの世帯がふえ、運転免許を返納すれば、すぐに交通弱者となる方がふえています。</p> <p>市民のみなさんが、住み慣れた地域で暮らしていくことが困難となっている中で、本市の考えを伺います。</p> <p>(1) 本市は、公共交通空白地域の現状について、どのように認識されているのか伺う。</p> <p>(2) 本市は、今後どのようにして公共交通空白地域解消のために努力していく考えなのか伺う。</p>	市長
		<p><b>2. 本市の教員の労働環境及び教育環境について</b></p> <p>近年、「教職員の多忙化」が大きな問題となっています。本市は、今年度「教育改革元年」と位置づけ、教育に力を入れておりますが、日々子供たちと向き合っている教職員の労働環境、そして、何より大切な白石の子供たちの教育環境について伺います。</p> <p>(1) 本市の教育環境について伺う。</p> <p>(2) 今年度、35人以上学級となっている学校、学級はあるのか伺う。</p> <p>(3) 学校の統合による児童・生徒の通学の利便性は確保されているのか伺う。</p> <p>(4) 「教職員の多忙化」についての認識を伺う。</p> <p>(5) 本市において「教職員が多忙」となっていないのか伺う。</p> <p>(6) 本市の教員定数は充足しているのか伺う。</p> <p>(7) いじめ問題、発達障害のある児童・生徒、外国人への個別指導などに応える職員配置はされているのか伺う。</p>	教育長
		<p><b>3. 校納金について</b></p> <p>第425回定例会において、校納金について質問いたしましたが、保護者の皆さんから金融機関の口座からの引き落としについて要望等が寄せられました。</p> <p>「以前は校納金の引き落としの期限が2回あったが、最近では1回となった。期限まで納めないと金融機関まで行って納めなければならず大変」との声が寄せられました。</p> <p>夫婦ともに多忙で納期限を忘れてしまった、多子家庭や生活に困窮されている方の中には、経済的理由から納期限まで校納金を準備できなかったということもあると思います。</p> <p>確かに、納期限を忘れてしまう保護者の責任は大きいと思いますが、しかし今後も校納金については、口座引き落としとする学校がふえていくことが予想されます。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	2番 佐藤龍彦	(1) 校納金の収納方法について伺う。 (2) 校納金の収納率の推移について伺う。 (3) 校納金の銀行手数料相当分(108円)を軽減できないか伺う。 (4) 校納金の再引き落とし期限を設けることはできないのか伺う。	教育長
11	10番 保科善一郎	<p><b>1. 企業誘致、工場団地造成について</b></p> <p>私は工業団地の先行的造成を主張してまいりましたが、市民の意見としても工業団地整備が地域振興に必要であるとの認識が強く、先行的造成で強力に推進すべきとの意見が多くあります。</p> <p>人口減少・超高齢化という直面する大きな課題に対し、地域の特徴を生かした持続可能な社会を創生することを目指し、活力ある地域社会を維持するための方策として工業団地の先行的造成を探究することが課題と考えます。</p> <p>市長の今年度の市施政方針では「企業誘致は、産業の振興や雇用の確保を図るため、今後も企業立地セミナーに参加するなど市長自らがさまざまな機会をとらえトップセールスを行い、関係機関と連携して企業誘致活動を積極的に行うとともに、市内立地企業への訪問活動を行い、よりよい関係構築を図ります。また、企業の要望などを踏まえ、新たな工業団地の造成に向けて検討を開始します」とあります。</p> <p>そこで次の質問をいたします。</p> <p>(1) 現在の企業誘致活動の経過及び実績についてご教示願います。</p> <p>(2) 工場団地造成について現在の進捗状況について伺います。</p>	市長
		<p><b>2. 白石城の景観整備について</b></p> <p>先般の市民との意見交換会では、観光資源の質の向上を図り、市民が観光客に対するおもてなしの心を醸成することが大事であり、市民みんなで取り組むことが課題であるとの意見が多く提案され、具体的には白石城の環境整備等を考えてはどうかとの意見がありました。そこで、白石城周辺の景観整備の具体的な計画について伺います。</p>	市長
		<p><b>3. 地方創生総合戦略について</b></p> <p>地方創生総合戦略については、子育て支援・多世代交流複合施設整備事業として「こじゅうろうキッズランド」を中心に事業を展開しておりますが、基本目標として掲げた施策・事業の効果を検証することになっております。</p> <p>その内容について次の項目について伺います。</p> <p>(1) 安定した雇用を創出するため、おもしろい市場並びに6次産業チャレンジ法人支援事業に取り組んでいますが、効果と実績について伺います。</p> <p>(2) 新しい人の流れをつくるため、定住促進事業「白石市移住交流サポートセンター」及び「地域おこし協力隊」の活用を図っておりますが、その実績と効果について伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	10番 保科善一郎	<p>(3) 若い世代対応として、安心して子供を産み育て、心安らかに暮らせるまちづくりを支援するとして、子育て支援・多世代交流複合施設を運営していますが、その効果について伺います。</p> <p>(4) 美しい自然を受け継ぎ、安心して快適に過ごせるまちづくりとして、「城花町しろいし事業」「市民バス事業」を実施していますが、その効果について伺います。</p>	市長
12	18番 松野久郎	<p><b>1. 白石市公共施設等総合管理計画について</b></p> <p>本市では、公共施設等を計画的に管理し、安全機能を確保しつつ、最適な配置・運営等を実現するため、「公共施設等総合管理計画」を策定し、計画期間は平成28年からおおむね40年間となっております。公共施設等について伺います。</p> <p>(1) 公共施設等のマネジメントを推進していくために、全庁的な取り組み体制の構築及び情報管理・共有方策として公共施設等を一元管理する組織を設置することとなっておりますが、現在までの取り組み状況について伺います。</p> <p>(2) 現状や課題について、人口減少や少子高齢化による施設ニーズの変化や老朽化、厳しい財政状況等を踏まえて、施設の総量、施設管理の適正化の策定状況について伺います。</p> <p>(3) 現在使用を中止している、または中止せざるを得ない施設等について、市が維持管理費を払い続けていくことを回避するために、他県においてマイナス入札をした事例もあります。本市としても必要と考えますが、市長の所見を伺います。</p>	市長
		<p><b>2. 消費税増税について</b></p> <p>10月1日から標準消費税が10%に引き上げられます。消費税増税の市政への影響について伺います。</p> <p>(1) 市の財政にとって消費税増税は、地方消費税交付金が引き上げられます。本市の増収を幾らくらいと見ているのか伺います。</p> <p>(2) 本市も納税者としての側面を持っています。保育園や小中学校・幼稚園など、教育や福祉関係等で支出増が幾らとみているのか伺います。</p> <p>(3) 消費税収の用途について、地方交付税法に定めているほか、年金や医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費に充てられることになっていますが、本市においての増収分の用途について伺います。</p>	市長
		<p><b>3. 白石市第一幼稚園の休園について</b></p> <p>8月7日の議員説明会において、白石市第一幼稚園の休園について説明がありました。園児の保護者のみならず市民の方々からの声もあることから質問いたします。</p> <p>(1) 休園理由として一園にすることによる幼児教育の充実、保育ニーズの変化、少子化に伴う園児の減少、幼児教育無償化による影響を掲げていますが、休園をすることを決断</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
12	18番 松野久郎	<p>するまでのプロセスとその理由について伺います。</p> <p>(2) 白石市第一幼稚園を休園にすることは、白石市第二幼稚園が残ることになります。一園にした場合の名称等をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(3) 第一幼稚園を休園し、第二幼稚園を残す理由について伺います。</p> <p>(4) 休園とした場合、第一幼稚園の来年度以降の入園児についてはどのようにするのか、また、在園中の園児対応をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(5) 今後、保護者や市民等への説明等をどのように行って行く計画なのか、スケジュールも含め伺います。</p>	市長 教育長
13	11番 佐久間儀郎	<p><b>1. 薬物乱用防止に向けた取組みについて</b></p> <p>国立精神・神経医療研究センターが2018年9月から12月にかけて中学生を対象に実施した「薬物乱用などの意識・実態調査（全国調査）」の結果が、先日報告されました。調査は今回で12回目ですが、大麻や覚醒剤、危険ドラッグの使用を「少々なら構わない」「全く構わない」と考える中学生がふえていることが分かりました。</p> <p>調査を指揮した国立精神・神経医療研究センターの研究室長は、若者の間で違法薬物を容認する考え方が広がっている要因の一つが、インターネットであると述べています。薬物を使用している動画を視聴したり、海外での大麻解禁の動きを知ったりして、影響を受けていることは疑いなく、ファッション感覚で手を出す若者もいると指摘しており、心身に害がないなど、不正確な情報に踊らされることがないように、若者への啓発活動を続けていくことが大事であるとしています。</p> <p>他方、2018年8月「第5次薬物乱用防止五カ年戦略」を策定した国の薬物乱用対策推進会議において、インターネットを中心とした誤った情報の流布等も一因となって、とりわけ30歳未満の大麻事犯検挙人員は増加しており、薬物乱用を未然に防止するため、特に青少年を中心に薬物乱用の危険性・有害性を正しく認識させるべく、学校等と連携した薬物乱用防止教室の開催を通じた積極的な広報・啓発が必要不可欠であるとしています。</p> <p>私が、平成26年9月議会において「薬物乱用防止取組みについて」と題して一般質問をして、すでに5年経過していますが、ネット環境の普及とともに薬物乱用事態は悪化している危機感を持って今回の質問に臨みました。改めて、本市において、これからの社会を担う青少年に対する啓発強化と薬物教育の一層の徹底が必要と考えます。</p> <p>については、文部科学省が発表している「薬物乱用防止教室推進マニュアル」には、府県教育委員会の具体的な取り組み事例が紹介されておりますが、我が市においては、これまでどのようなことを行ってきたのか、また今後の対策について当局のお考えを伺います。</p> <p>(1) 薬物乱用防止教室は、学校保健計画に位置づけて、全ての中学校は必ず年1回は開催し、小学校においても開催に</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
13	11番 佐久間 儀 郎	<p>努めるとなっていますが、本市のこれまでの取り組み状況をお知らせください。</p> <p>(2) 文部科学省では、知識を総動員した指導方法の工夫を行うよう通達しているようです。つまり、児童・生徒には、薬物乱用の有害性・危険性のみならず、薬物乱用は、好奇心、投げやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、周囲の人々の影響や人間関係の中で生じる断りにくい心理、宣伝、広告や入手しやすさなどの社会環境などによって助長されること、また、それらに適切に対処する必要があることを理解できるように指導するとしています。この点において、知識を総動員した指導方法の工夫はどのように考えていますか。</p> <p>(3) 文部科学省は、学校薬剤師など薬物等に関する専門的な知識を有する者の協力を得る、また教員以外の指導者による効果的な指導を求めています。こうした体制づくりはどのようにされていますか。</p> <p>(4) 学校警察連絡協議会等において情報交換するなど、警察と学校関係者等との連携強化、また関係機関・団体等による研修会の開催や参考資料等の作成が促進されるような連携の強化を求めているようですが、この点の連携状況はいかがですか。</p> <p>(5) 対策は学校現場だけでは十分ではありません。家庭・地域での薬物根絶意識の醸成と未然防止のための取り組み強化が必要です。例えば、健全育成市民のつどい等の機会において、青少年の大麻事犯が増加傾向にあり、大麻合法化を推し進める海外からの影響やさまざまな乱用形態など複雑かつ巧妙な事態への喫緊の対応が迫られていることを理解してもらうことが必要です。保護者、地域住民に対する薬物乱用防止啓発を推進する取り組みをどのように考えているのかお尋ねします。</p>	市 長 教 育 長
		<p><b>2. 避難行動要支援者名簿の作成・活用について</b></p> <p>東日本大震災で災害時の避難に支援が必要な高齢者や障害者の死亡率が多かった反響から、2014年に災害対策基本法は改正され、災害時に自力での避難が困難な災害弱者を自治体があらかじめ把握するための「避難行動要支援者名簿」作成が義務付けられました。そして同法は活用範囲を広げるため、災害の発生に備えて名簿を民生委員や自治会などに事前に提供するとしています。さらに国の指針では、自治会や民生委員などが名簿登録者と協議して「個別計画」を作成し、避難先や支援者をあらかじめ決めることが望ましいとしています。</p> <p>消防庁では、昨年の6月時点、避難行動要支援者名簿は全国1,739市区町村の97%が作成済みで、1,687市町村のうち、個別計画の作成が完了しているのは239自治体とする調査結果を明らかにしています。</p> <p>近年、各地で大規模地震や豪雨・土砂災害が相次ぐ中、本市においても防災意識を高め、そして災害弱者の命を守ろうとする国の制度をしっかりと運用できるようにすべきであり</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
13	11番 佐久間 儀 郎	<p>ます。</p> <p>そこで以下について質問をいたします。</p> <p>(1) 本市では災害が発生した際に、自力で避難することが困難な方々の安否確認、避難、支援活動をスムーズに行うため、2008年から民生委員の方々の協力を得て65歳以上の①一人暮らし高齢者、②寝たきり高齢者、③高齢者のみの世帯、そして④障害者で災害時に支援が必要な方々を対象にした「災害時要援護者台帳」を整備しており、台帳の管理・運用については、民生委員・児童委員協議会、自治会連合会、社会福祉協議会と白石市とで協定を締結していると認識しています。従って、これまでの台帳を基礎にすることで、「避難行動要支援者名簿」の作成が容易にできているのではないかと考えますが、他方、自主防災組織ができていない地区ではなかなか名簿作成が進まないとも聞かれます。確認のため、避難行動要支援名簿の作成状況を伺います。</p> <p>(2) 名簿を民生委員や自治会などに事前に提供するには、特段の定めがない場合は個人情報の関係で登録者の同意が必要であると解されますが、本市はどのように取り扱いをしていますか。</p> <p>(3) 災害対策基本法は、避難行動要支援者名簿情報に基づき、市町村は避難行動要支援者と協議して「個別計画」を策定することを求めています。あらかじめ災害時の支援者や避難先などを一人一人について、具体的に決めておく計画ではありますが、超高齢化社会で支援者を確保するのが難しい現実があるとも聞きます。本市の個人計画策定状況を伺います。</p> <p>(4) 名簿の活用は、災害と絡んで踏み込んだものにすべきです。地震のほか豪雨災害、土砂災害など各地で起きていることに鑑み、地震災害を想定している市の総合防災訓練も見直しながら多様な種々の災害に対応する総合訓練とし、そして「避難行動要支援者名簿」を活用して災害弱者を守る訓練をしていくことが必要ではないかと考えます。市長のご所見をお聞かせください。</p>	市 長
14	12番 四 竈 英 夫	<p><b>1. 第6次白石市総合計画の策定について</b></p> <p>平成22年度に策定した「第5次白石市総合計画」が令和2年度に最終年度を迎えることから、令和3年度を初年度とする「第6次白石市総合計画」の策定に着手されました。本計画の基本理念と計画に対する期待についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 第5次総合計画の最終年度を迎えるに当たって、計画の達成度や満足度についてはどのような評価をされているかお伺いいたします。</p> <p>(2) 第6次白石市総合計画の期間は10年間となっておりますが、長いスパンの中で時代の変化については、どのように対応されるのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 市民の皆さんに対する周知、理解、協力などはどのような方法で対処されるのかお伺いいたします。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
14	12番 四 籠 英 夫	(4) 計画の策定、実行などについては、議会と一体となった対応が必要と思われますが、改選後の新議会との連携協力体制については、どのように進められるのかお伺いいたします。	市長
		<b>2. 図書館の整備計画について</b> 本市の図書館は長い歴史と伝統を持った施設であり、市民の教育文化向上のため貢献をしてきた重要な施設であります。しかし、施設の老朽化や情報媒体等の変化進歩により、改善を要する面が出てきているのではないかと考えられます。図書館を時代に対応した施設とするため、改築や増築することなどが必要ではないかと考えられますが、どのような見解をお持ちかお伺いいたします。	市長 教育長
		<b>3. 移動図書館「こまくさ号」の運用について</b> 移動図書館「こまくさ号」は図書館から遠い地区の方々に、図書に触れ親しんでいただくために運行されているものがあります。これも長年の歴史があるものと思われませんが、その運行状況と利用状況についてお伺いいたします。 (1) 現状を踏まえ、今後の運行計画についてお伺いいたします。 (2) 改善点などがあればお伺いいたします。	市長 教育長
		<b>4. かわまちづくり事業の今後について</b> 七ヶ宿ダム下流の小原材木岩公園一帯を整備し、観光のスポットにしたいという構想があり、「かわまちづくり事業」として取り上げられました。これは、七ヶ宿ダムや国土交通省からの予算措置を受けて実施される事業であるため、国の対応を待つことになるものと思われませんが、現在の事業の進捗状況をお伺いいたします。 (1) 今後の本事業計画の見通しと事業計画の概要についてお伺いいたします。 (2) 事業の促進を図るため、今後どのような対策をとられるのかお伺いいたします。	市長